長野労基発0806第1号の2
平成27年8月6日

公益社団法人建設荷役車両安全技術協会
長野県支部　御中

長野労働局労働基準部長

今夏の職場における熱中症予防対策の徹底について

日頃より、労働災害の防止につきまして格別なる御理解と御協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

今夏の職場における熱中症の予防については、平成27年5月26日付け長野労発基0526第1号の2「平成27年の職場における熱中症予防対策の重点的な実施について」（以下「重点通達」という。）により依頼しているところですが、今月に入り、長野県内の製造業において、屋内作業場で移動式クレーンを使用して荷下ろし作業を行っていた労働者1名が熱中症により死亡する労働災害が発生しました。

全国では、本年7月末日までに発生した職場における熱中症が原因と考えられる死亡者数は8人と、前年同期より2人増加しており、業種別にみると、建設業における死亡災害が多発している状況です。（別添1参照）

また、消防庁が発表している熱中症による救急搬送状況によると、平成27年5月19日から8月2日までの熱中症による救急搬送人員数は33,934人と、前年同期より7,698人増加しており、特に、7月27日から8月2日までの救急搬送人員数は11,672人と、1週間の救急搬送人員数としては過去最多と発表されています。

さらに、気象庁が発表している8月1日から8月31日までの1か月予報では、全地域で気温が平年より高くなる可能性があること、例年8月に熱中症による労働災害が多発していることから、引き続き、重点通達に基づく熱中症予防対策に取り組んでいただきますとともに、会員事業場への周知等について、特段の御理解と御協力をお願いいたします。

なお、夏季休暇等により長期間、高温多湿作業場所での作業から離れた場合等においては、通常、労働者は熱に順化していないことに留意いただきますようお願いいたします。

（参考）
・熱中症による救急搬送状況（消防庁ＨＰ）
http://www.fdma.go.jp/neuter/topics/fieldList9_2.html

・１か月予報（気象庁ＨＰ）
http://www.jma.go.jp/jp/longfcst/
・熱中症予防情報サイト（環境省ＨＰ）
http://www.wbgt.env.go.jp/

別添１

平成27年の職場における熱中症による死亡災害の発生状況（速報）

表１　熱中症による死亡者数の業種別の状況（速報）

業種	平成27年（７月末までの速報値）	平成26年（７月末までの確定値）
製造業	１人	０人
建設業	４人	４人
運輸交通業	０人	１人
畜産・水産業	０人	１人
商業	１人	０人
接客娯楽業	１人	０人
警備業	１人	０人
計	８人	６人

※　死亡災害報告等に基づく速報値であり、今後、件数が修正されることがあり得る。

表２　熱中症による死亡者数の月別の状況（速報）

発生月	平成27年（７月末までの速報値）	平成26年（７月末までの確定値）
６月	１人	０人
７月	７人	６人
計	８人	６人

※　死亡災害報告等に基づく速報値であり、今後、件数が修正されることがあり得る。

表３　平成27年の熱中症による死亡災害の概要（速報）

番号	月	業種	年代	発生場所	事案の概要
1	7	食料品製造業	50歳代	鹿児島県	被災者は、工場内において精麦・飼料製造の補助作業を行っていたところ、14時20分頃に意識障害を起こし、病院に搬送されたが、6日後に死亡した。
2	7	建築工事業	50歳代	長崎県	被災者は、住宅の新築工事現場において基礎の型枠の組立作業を行っていたところ、15時頃に気分が悪くなったため、事業者の指示により車内で休憩していた。その後、17時45分頃に車内で意識を失っているところを事業者が発見し、病院に搬送されたが、死亡した。
3	7	建築工事業	60歳代	東京都	被災者は、集合住宅の新築工事現場において基礎の型枠の解体作業を行っていたところ、13時半頃に倒れ込み、病院に搬送されたが、6日後に死亡した。
4	7	建築工事業	30歳代	千葉県	被災者は、店舗の増築工事現場において雨水排水用のU字溝の設置作業を行い、16時頃から後片付けをしていたところ、急に倒れ込み、病院に搬送されたが、死亡した。
5	7	建築工事業	70歳代	茨城県	被災者は、店舗の新築工事現場において擁壁の目地詰めを行っていたところ、13時過ぎに熱中症と思われる症状を発症したため、病院に搬送されたが、死亡した。
6	7	商業	50歳代	宮城県	被災者は、雨量計の月次点検作業のため登山をしたが、体調不良を訴え、作業には参加せず、木陰で休憩していた。その後、点検作業を終えた同僚とともに下山していたところ、11時半過ぎに倒れ込み、病院に搬送されたが、死亡した。
7	6	接客娯楽業	30歳代	海外	被災者は、海外での研修中に、40℃以上の高温の環境下で体調不良に陥り、その後死亡した。（熱中症の疑いがあるものの、因果関係は調査中である。）
8	7	警備業	20歳代	香川県	被災者は、道路で街路樹伐採現場の交通誘導作業を行っていたところ、15時30分頃に、同僚に体調不良を訴え、病院に搬送されたが、翌日に死亡した。

※　死亡災害報告等に基づく速報であり、今後、内容が修正されることがあり得る。

※　表１の業種別の順に並べたものである。